

DBCOOP

事業継続計画の

導入支援サービス

企業を取り巻く様々な事業継続のリスク

自然災害

(例:地震、台風、洪水等)

サプライチェーン

(例:下請け企業の倒産、被災によるサプライ途脱等)

法的問題や内部統制

(例:不法行為、脱税、粉飾決算等)

環境やCSR問題

(例:地下水汚染、不法投棄
人権問題、風評被害等)

政治

(例:戦争、諸外国からの外圧、政情不安等)

事業

労働安全衛生

(例:感染症、メンタルヘルスケア、交通事故、ストライキ等)

社会・経済

(例:市場や消費者の変化、株価、為替変動等)

施設・設備

(例:火災、故障、盗難等)

情報セキュリティ

(例:ITシステムダウン、情報漏えい等)

技術

例:技術やノウハウの流出、後継者不足等)

BCPとは

- 企業が自然災害、大火災、テロ攻撃、パンデミック(感染症の大流行)などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限度に止めつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための手法、手段を取り決めておく計画のことです。
- BCMとは「想定外」を「想定」する作業
また、事業を脅かすインシデントの90%は「静かな大惨事」

事業継続マネジメントの必要性

- **社会・ビジネス構造の変化**

- ・社会システム・ビジネス全体の高相互依存度とグローバル化、複雑化

- **市場の変化**

- ・企業価値の価値観の変化(BCM／CSR／防災格付等)

- ・免責範囲の縮小・・・競争優位性

- ・サプライチェーン上の要請／評価

- **リスクの変化**

- ・新しい脅威の出現・・・パンデミック宣言

- ・伝統的脅威の発生確率増大・・・世界最大のリスク(自然災害への脆弱性)

- **その他**

- ・関連法規制／ガイダンス／ISO／内部統制概念等の整備・浸透

事業継続マネジメント導入

～BCP／BCMの構築支援～

どんな企業にお勧め？

- ◆緊急時対応ができていない
- ◆緊急時対応ができていることをアピールして顧客からの安心を得たい
- ◆自社事業のビジネス価値が把握できていない

メリットは？

- 何かあった場合の対応が明確になる
- 英国規格による認証証明をすることもできる
- 自社ビジネスの価値が客観的に把握できる

デメリットは？

- 認証には審査費用が掛かります
継続審査／年
（初回の1／3）
更新審査／3年
（初回の2／3）
- 認証には記録を残すことが必要になります

まさかの時の対応を！！
大規模災害等の対応を予め計画しておきましょう。
何か起こった時への備えはできてますか？

地震、火災による災害の対応は・・・
パンデミックによる対応は・・・
製品不良で風評被害は・・・
法的な問題が発生したら・・・



最も影響の少ない
事業継続の方法を！

全事業BCP
(全事業を対象に)

- ・ビジネス定義
- ・ビジネスインパクト分析
- ・リスクアセスメント
- ・リスク対応計画
- ・緊急時対応体制

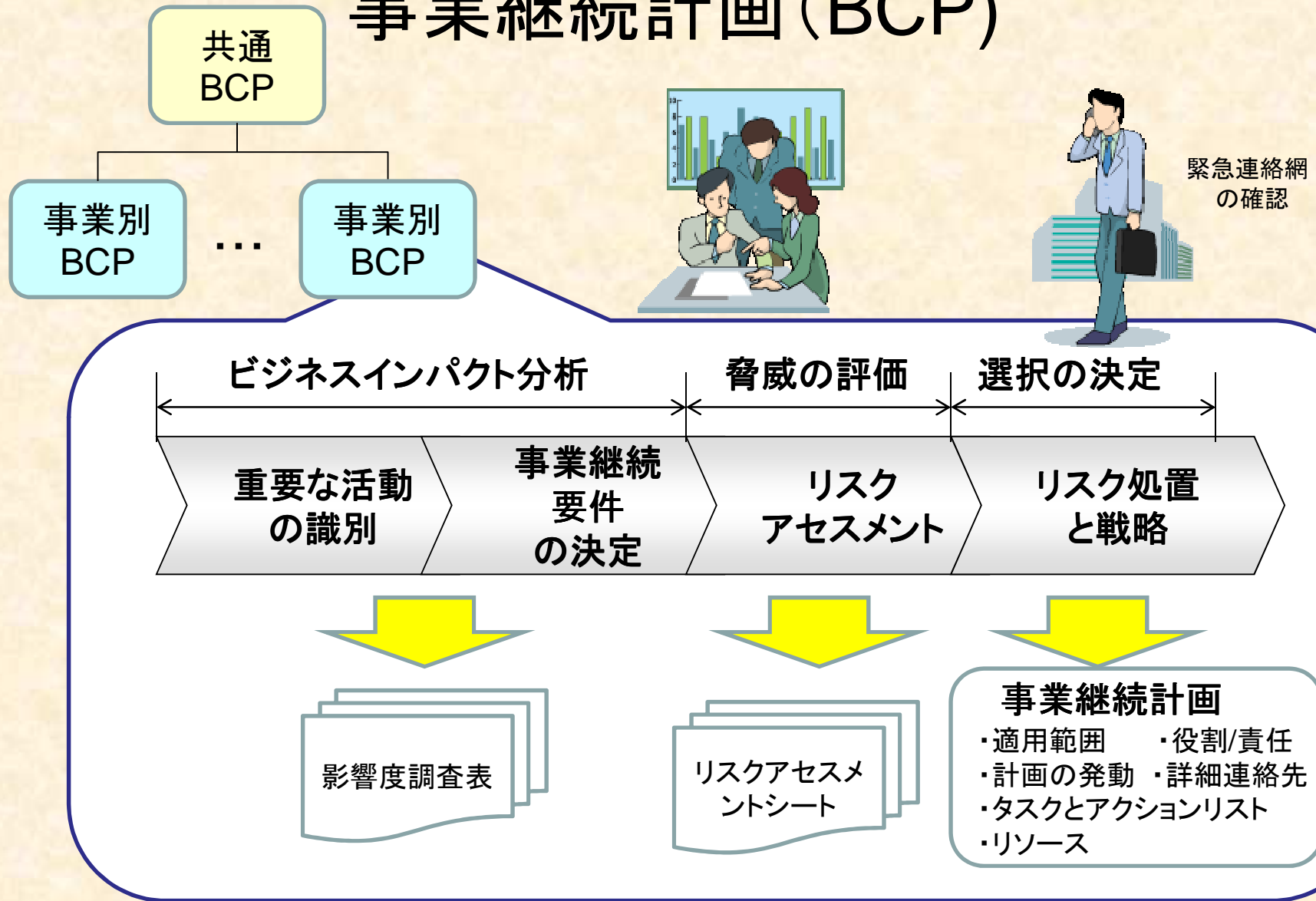


情報システムBCP
(情報システムにフォーカス)

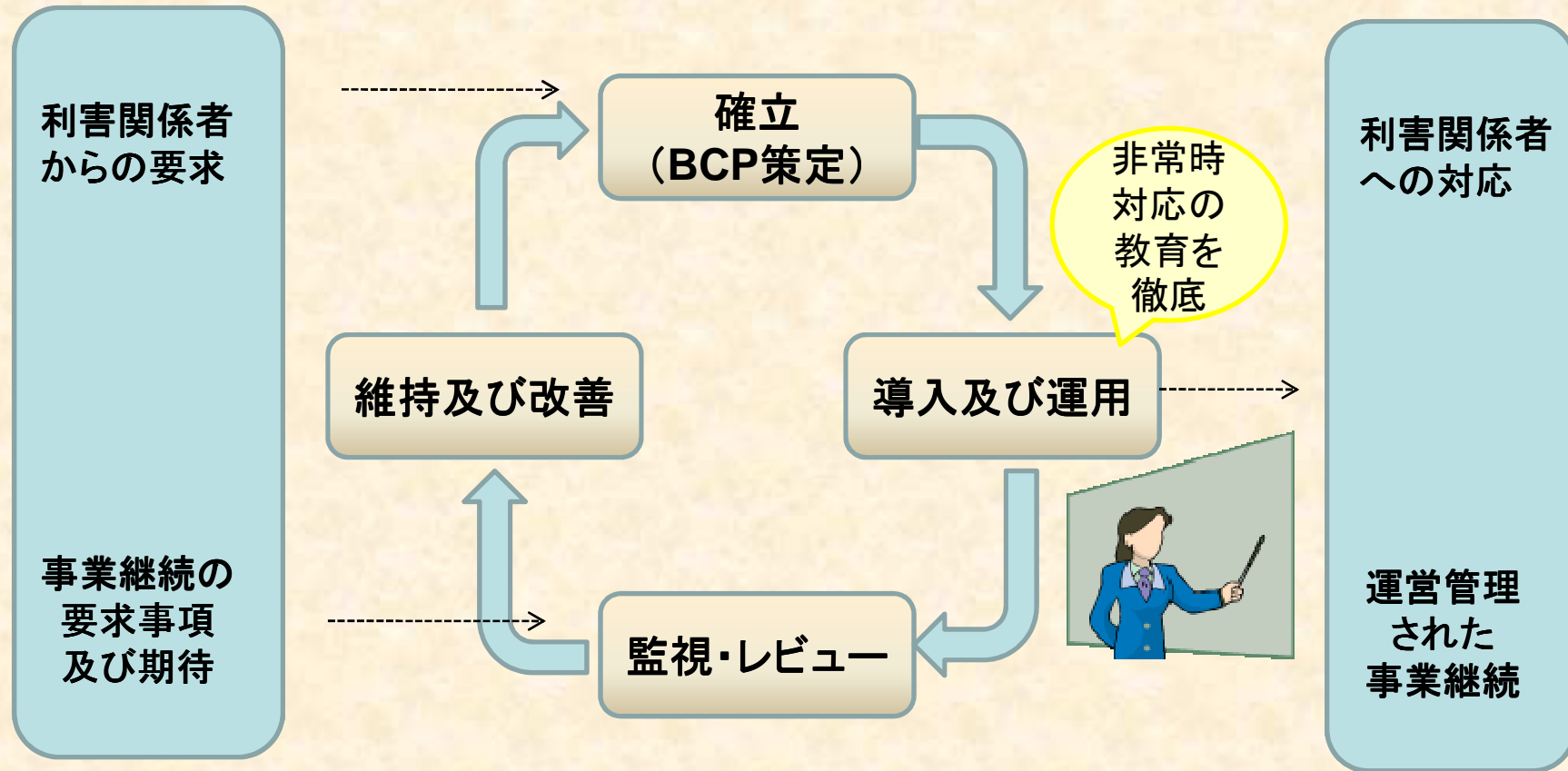
- ・情報システムのリスクアセスメント
- ・リスク対応計画
- ・緊急時対応体制

とりあえずシステム復旧という企業向け

事業継続計画 (BCP)

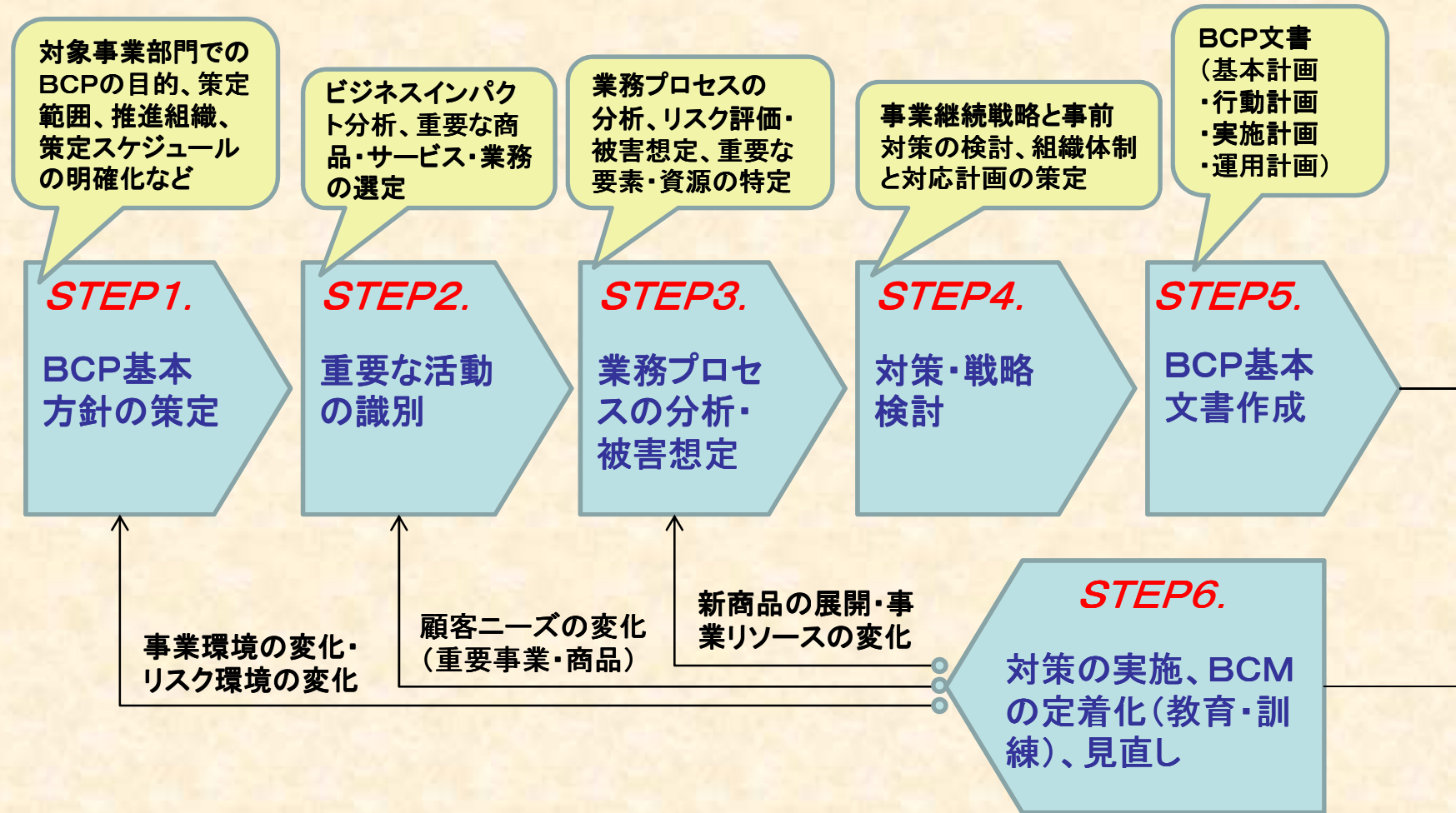


事業継続マネジメント(BCM) ～構築されたBCPの有効化～



構築された事業継続計画を運用していくためのフレームワーク (PDCAサイクル)で継続的に改善していきます

BCP策定の流れ



BCPの基本方針と推進体制について

- BCP策定にどのような人が参画するか？
- BCM推進の責任者は誰か？
- どのように事業部門に展開していくか？

■ 事業部門の参画

■ 経営者の関与、事務局のリーダーシップ

ビジネスインパクト分析について

- ビジネスインパクト分析は何？
 - どれぐらい緻密に分析すればよいか？
-
- 特定の経営資源への依存度などを見える化
 - 重要業務を特定
 - 中断によるビジネスへの影響を分析
 - 目標復旧時間を検討

BCP/BCMの視点とは

■従来の視点

- ・**リスク**から(従来の防災活動)
- ・何が起こるか？
 - ⇒何が壊れるか
 - ⇒壊れたらどうなるか？
 - ⇒壊さないようにするにはどうすれば良いか？

■BCP/BCMの視点

- ・**ビジネス**から
- ・どんな業務が停まったら困るか
 - ⇒どのくらい停まったら困るか
 - ⇒どのように停めないようにするか？
 - ⇒迂回路(代替、予備、ハンド対応など)
 - ⇒経営的な戦略

リスクベースとインパクトベースのアプローチの違い

ビジネスインパクト分析

☆対象事業(製品・サービス・業務)の分析と選定



☆業務プロセスの分析
・事業リソース(人・物・情報)
・サプライチェーン・相互依存性
・冗長性・代替手段



☆対象事業の継続に不可欠な要素・資源の特定



☆重要な要素・資源の機能停止による事業への影響分析



復旧目標(目標復旧時間など)

重要活動への脅威(リスク)の分析・評価

☆自社を取り巻く脅威の認識
☆発生頻度・影響度の分析



☆対象とする脅威の選定
☆影響範囲・災害シナリオの分析



☆重要な要素・資源の脆弱性評価



☆損害評価
☆復旧の制約になる要素・資源
☆現状で可能な復旧時間



事業継続戦略

☆代替/復旧戦略の選定・事業継続計画の策定
・事前対策・対策実施ロードマップ
・非常時の行動要領



リスク評価・被害想定について

- BCPの策定に詳細な被害想定は必要か？
 - どれくらい精緻に被害想定を行えばよいか？
-
- コアとなるメンバー間での認識共有
 - 起こりうる現象、被災シナリオを想定
 - 対象とする脅威が、ビジネスに及ぼす影響を定性的、定量的に評価
 - どれぐらいの期間、業務が停止するかを見積もる
 - 復旧の制約となる要素・資源を見出す

BCP発動と対応計画

- BCPの発動ってそもそも何か？
 - 対策本部の組織体制は？
 - 誰が発動するのか？
 - 各部門の行動
 - 要領は、どのように考えるのか？
-
- 事業復旧チーム
 - 復旧対応チーム
 - 事業部門の責任者を長とする復旧対策本部

教育・訓練、組織への定着化

- どのような訓練が必要か？
- どのように継続的な取り組みに繋がれば良いか？
- どのように他事業部門へ横展開すればよいか？

■ 訓練を行う目的の計画化が重要

- 訓練目的の明確化
- 訓練対象者を選定
- 訓練手法を選定
- 訓練結果を基に改善計画を策定